

就職・採用活動日程に関する関係省庁連絡会議 幹事会（第4回）
議事要旨

【開催要領】

1. 開催日時：2022年11月15日（火）17:00～17:35
2. 場 所：オンライン
3. 出席者：

議 長	榊原 毅	内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）
構成員	吉中 孝	内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）
同	吉住 秀夫	内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）
同	藤吉 尚之	文部科学省高等教育局学生支援課長
同	谷口 正範	厚生労働省人材開発統括官付参事官 （若年者・キャリア形成支援担当参事官室長）
同	島津 裕紀	経済産業省経済産業政策局産業人材課長
関係者	新田 秀司	一般社団法人日本経済団体連合会労働政策本部長
同	池田 三知子	一般社団法人日本経済団体連合会SDGs本部長
同	大野 英男	就職問題懇談会座長（東北大学総長）
同	大下 英和	日本商工会議所 産業政策第二部長
同	伊藤 公平	就職問題懇談会副座長（慶應義塾塾長）

【議事次第】

- 1 開会
- 2 議長挨拶
- 3 議事
2024年度卒業・修了予定学生の就職・採用活動日程等について
- 4 閉会

【資料】

- 資料1 経済団体・業界団体等へのフォローアップ調査結果
資料2 内閣府調査結果（学生）
資料3 文部科学省調査結果（大学等）
資料4 文部科学省調査結果（企業等）

参考資料1 2023年度卒業・修了予定者の就職・採用活動日程に関する考え方
（令和3年11月29日）

参考資料2 2023年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動に関する要請について
（令和4年3月28日）

- 参考資料3 産学協議会 2021年度報告書「産学協働による自律的なキャリア形成の推進」概要（令和4年4月18日）
- 参考資料4 インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方（令和4年6月13日改正）
- 参考資料5 「インターンシップの更なる充実に向けて 議論の取りまとめ」等を踏まえた「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」に係る留意点について（平成29年10月25日）
-

【概要】

- (1) 冒頭、議長の榊原内閣官房内閣審議官から挨拶。
 - (2) 内閣官房から資料1、2について説明。
 - (3) 文部科学省から資料3、4について説明。
 - (4) 産学協議会から来年度から実施予定のインターンシップを核としたキャリア形成支援活動の準備状況について説明。
 - (5) このほか出席者からの主な意見は以下のとおり。
- 2024年度卒業予定者の採用日程ルールについて、現状のものと同様とすることに異論はない。ただし、今のルールと実態との乖離があることを改めて認識したところ。どこかのタイミングでルール自体の見直しも、継続して検討していくべき。
 - 2025年度卒については、今後、見直しを行うのであれば、「専門性が高い」とは何かを明確化していかなければいけない。
 - インターンシップを4類型に分け、そのうち2つはインターンシップを称さないというところまで到達した。専門性のある人材について、2025年度卒を対象とした見直しを行うのであれば、まずはその新たなインターンシップの枠組みをしっかりとってから進めたい。
 - 2025年度卒を「専門性が高い人材の弾力化」の観点から見直しを行っていくことは、ルールの形骸化をさらに助長する懸念がある。就活ルールが少なくとも学生の学修時間の確保を一番の目的としているのであれば、この見直しは、あまり望ましいことではないのではないか。

(以上)